

【考案の動機】

- ・D475-5E0 エンジン停止不具合
- ・エラーコードが特定出来ない(エンジンが停止するエラーコードが出ない)
- ・作業中又は走行中に不具合が発生し、点検整備では故障が確認出来ない。
- ・不具合発生時期が特定できず、待機していても確認出来ない。
- ・エラーコードが記憶出来ないことから、コントローラー電源異常との推測から製作する事にした。
- ・同じような現象の時にも活用できる。

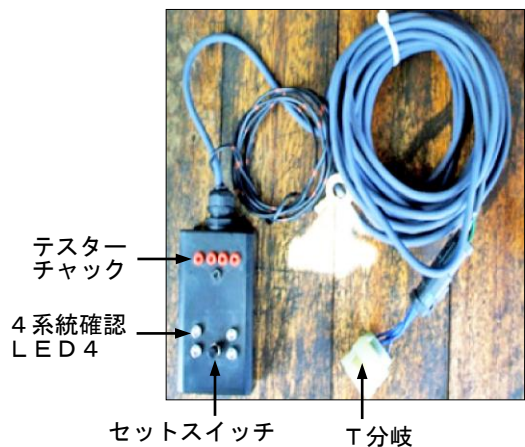
【考案の内容】

1. 診断装置の内部構成

- ・リレー自己保持による電源回路の診断
- ・電源回路4系統に対応
- ・測定端子を作り、測定及び確認の簡素化
- ・作動確認のしやすさ、耐久性を考え2色LED選定
- ・ケース小型軽量化により、容易な設置場所確保

2. 診断方法

- ・T分岐を使用し、診断する回路に並列に接続し、測定回路の電圧が下がり、リレーが離れるとLEDの色が変わり、電圧が復帰してもセットスイッチを入れるまで現状を維持する事で診断する。
- ・セットスイッチを押すと緑色に変わり、電圧が下がると赤色に変化する。それによりどの電源回路の電圧が下がるか解る。



【考案の効果】

LEDの色の変化した場所から不具合電源回路が特定出来るので、サービス員の待機時間及び故障診断作業工数が大幅に短縮出来ました。

☆平均待機時間

約5H+不具合箇所診断約3H+不具合箇所修理1H=9H

診断装置設定後

☆診断装置取付0.5H+待機時間0H+不具合箇所修理1H=1.5H

約7.5Hの作業工数の短縮

